

近畿病院図書室協議会第133回研修会

研修部

日 時：2014年3月20日（木）10:00～12:00

場 所：キャンパスプラザ京都 2F 第一会議室

プログラム：

1. 洋雑誌の電子ジャーナル化計画
大阪赤十字病院 雨乞 久美 氏
 2. 「DynaMed」と「Medline with Full Text」及び電子ジャーナル導入とILL件数の変化
京都桂病院 椎木 淳美 氏
 3. 病院機能評価・卒後臨床研修評価を受審して
耳原総合病院 江口 純子 氏
 4. Kinki Webcat からKITO cat へ—目録サポートチームからの報告
京都第二赤十字病院 川野 眞樹 氏
 5. 近畿病院図書室協議会ホームページの改修点と使い方について
関西労災病院 寺澤 裕子 氏
- 参加者数：45名

1. 洋雑誌の電子ジャーナル化計画
2013年～2015年の3年ですべての洋雑誌を電子ジャーナルに移行する計画の中間報告をされた。実施前の2011年に全ての洋雑誌を「冊子体+電子ジャーナル」の形態にし、電子化に慣れてもらいながら徐々に冊子を減らしていった。また、冊子体を減らした分の費用で電子ジャーナルを新規に購入する条件を付加した。2014年時には96タイトルが電子化し、冊子体は残り7タイトルとなった。
2. 「DynaMed」と「Medline with Full Text」及び電子ジャーナル導入とILL件数の変化
電子資料の導入により他機関へのILL申し込

みおよび自機関図書館内での複写依頼件数は減った。一方で、他館への申込件数の機関別の比率は変わらなかった。

3. 病院機能評価・卒後臨床研修評価を受審して
これらの認定を受けることは、病院の評価につながるだけでなく、診療報酬や施設基準に影響するメリットがある。受審にあたり、病院スタッフが一同となって準備を進めることで職場の連帯感が強まり、弱点に取り組み、マニュアルを見直すことができ、得られるものは多い、と報告された。
4. Kinki Webcat からKITO cat へ—目録サポートチームからの報告

近畿病院図書室協議会会員間の相互利用（ILL）の目的で作成されたweb目録、Kinki Webcatが東海地区医学図書館協議会の目録TOMcatと統合し、KITOcatとして運用されることになった。

統合することで利用できる書誌も増え、新機能も加わった。充実した目録システムとするためには、会員が自機関データを定期的に更新していく必要がある。

5. 近畿病院図書室協議会ホームページの改修点と使い方について

2014年3月よりリニューアルされたホームページについての報告があった。

トップページのコンテンツを見やすく整理し、会員専用ページ「会員コミュニティサイト」を全面改正した。愛称を「近図雲」とし、近畿病院図書室協議会から会員施設への公式なお知らせの発信のほか、担当者同士の情報交換の場として使うことができる。

どの発表も、今後の図書館業務にかかわる内容であり、大いに参考になった。発表者の皆さまに感謝するとともに、今後も研修会がより実

りのあるものになるよう努めていきたい。

(文責：谷口裕美子/八尾市立病院)